

令和8年度 第1回用瀬地域振興未来会議 議事概要

【開催日時】

令和8年4月24日（金）午前10時30分～12時00分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階第1会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、山下和彦、平井育子、寺崎健一、西尾とよ子、岸森孝弘、入江真知子、西村 勝、石井 敏、松本豪平、田中聡
以上11名（敬称略）

事務局 太田用瀬町総合支所長、金谷副支所長、浜部産業建設課長、安田市民福祉課長
遠藤地域振興課課長補佐、堺地域おこし協力隊

関係課 地域振興課（坂本総合支所エリアマネージャー）

傍聴者 1名

【次第】

- 1 開会
- 2 会長・支所長あいさつ
事務局等職員紹介
- 3 議題・報告事項
 - (1) 事業などの報告 . . . 資料1
 - ① ひいな橋をぬりかえよう！（3月14日開催）
 - ② ラベンダーの町をつくろう！（ラベンダー植付イベント3月22日開催）
 - ③ 流しびな行事（4月19日開催）
 - ④ 観光案内マップ制作
 - (2) 令和8年度主な地域別事業（用瀬分） . . . 資料2
 - (3) 令和8年度地域振興未来会議の進め方 . . . 資料3
 - (4) #もちがせつくろう事業紹介 . . . 資料4
 - (5) その他

3 議題・報告事項等

(1) 事業などの報告

- ① ひいな橋をぬりかえよう！（3月14日開催）
- ② ラベンダーの町をつくろう！（ラベンダー植付イベント3月22日開催）
- ③ 流しびな行事（4月19日開催）
- ④ 観光案内マップ制作

～資料1により説明～

(委員)

④観光案内マップについて

「用瀬の生き物たち」で、用瀬には珍しい「カジカガエル」もあたりまえにいますのでぜひ紹介を。三朝町では「カジカガエルの里」としてクローズアップされている。

(委員)

①ひいな橋のぬりかえについて

皆でぬりかえられたのはとても良かった。今度は国道482号線の用瀬橋の色褪せが目立つ。またぬりかえを検討してもらえれば。

(委員)

④観光案内マップについて

このマップは何部作成されたのか。

(事務局)

2,000部作成しました。

(委員)

設置については、空港やJR鳥取駅などにも置かせてもらったらどうか。

また、どういう活用をされているかなど、リサーチも必要。せっかく作ったマップなので、もっと活用を広げるような方向でPRをしていただきたい。

(事務局)

設置場所については開拓・拡大を進めていきます。

(事務局)

マップとは別ですが情報発信のところで、今年度から鳥取市のホームページもリニューアルされました。用瀬の観光や地域資源の情報がネット上でも、もっと見られるように充実していこうと考えています。

(2) 令和8年度主な地域別事業（用瀬分）

～資料2により説明～

(委員)

新規就農者の支援事業の対象者は何名いるか。

(事務局)

1名の予定です。

(委員)

中山間地域等直接支払交付金が減っているが、その原因は組合員が減っているのか、農地が減っているのか。

(事務局)

詳しく分析はしていませんが、団体数は15団体でこれまでと変わりありません。面積については減ったということがあるかもしれません。農業従事者の方も高齢になり、事務作業も負担となっているなかで、無理は言えない面もあります。しかし、本制度を有効に活用していただき、農地の維持・継続につなげていただきたいと思います。

(委員)

高齢になると、田んぼを鋤くのも植えるのもえらい。機械が入らないような便利が悪い農地は、どうしても手をつけなくなってしまふ。

(委員)

用瀬では、遊休地の活用や後継者についてなど、農業問題についてあまり話し合うことがない。あと5年10年もすれば現役で農業している人が高齢で続けられなくなる。農業は地域の基幹となるものであり、そうなるから今後どうしようとするのでは遅い。JA、支所、農業従事者などが集まってしっかり計画を立てるべきだと思う。

(3) 令和8年度地域振興未来会議の進め方

～資料3により説明～

- 【重点課題テーマ】①地域に根差した特産品の開発と担い手育成・確保
②空き家の有効活用

(委員)

空き家の相談体制の拡充検討が出ているが、新規就農者は、まず機械や農具などの購入に多額の費用が必要になる。空き家になっている場所に農具が残っていれば、それとセットにして売却や貸し出はできないか。

農業機械は、大規模にやっている場合であれば2、3年で1,000万円以上するような機械を買うこともある。田舎の家は、母屋・納屋・作業場、そして農具が揃っていることもある。こうした特徴ある物件をSNSで積極的に募集していくと良いのでは。

また、初めて農業に就く方には、お世話をする人が必ず必要。「本当に農業で儲けたい」と考えて移住してくる人は、こちらが思いもしないような発想を持っている可能性がある。そうした方々と地域をうまく繋いでくれる存在も必要。

(事務局)

空き家の中には農機具だけでなく、その家で長い間使われ、眠っている物もたくさんあります。そういったものを上手く活用できる体制に繋がっていければ良いと思います。そのためにもどういう受け皿を作っていけるかが、課題だと改めて感じます。

また、空き家だけじゃなくて農業であるとか仕事へ繋がっていけるような取り組みも併せてできたらと思っています。

(4) #もちがせつくろう事業紹介

～資料4により説明～

(委員)

#ハッシュタグのアクセス数は分かるのか。

(事務局)

アクセス数までは分かりませんが「#もちがせつくろう」の投稿は100件を超えました。

(委員)

「#もちがせつくろう」のチラシは裏が白紙でスペースが空いている。公民館が主催で実施している事業もいろいろあるので、ピックアップして紹介したら、もっと賑やかなチラシになると思う。

(事務局)

今回、情報収集がやりきれなかった部分があったので、また別の季節のチラシを作る時は、そういう取り組みもしっかり情報収集して載せることができたらと思っています。

(5) その他

(会長)

用瀬地域振興未来だよりの発行を検討している。

委員の皆さんにも自己紹介など一言ずつでも書いていただきたいので、また別途原稿を依頼します。

(委員)

先日、プレミアム付商品券の第1回販売が行われたが、あれは非常に不評でしたよね。

なぜあんなに簡単に物事を考えて進めてしまったのか。今後の鳥取市のことを考えるならば、やはりお年寄りや弱者が安心して利用できる制度にしていかなければならない。

(事務局)

今回の「とっとりまるごと暮らし応援券」ですが、早朝から買い求める方で行列や交通渋滞を引き起こし、早期に完売したため購入できない多くの方があったと聞いております。

当然、市の方にも多くの批判が寄せられました。これを受けて協議を重ね、5月議会でもお示ししますが、やり方を大きく変えることになりました。

【紙版チケットについて】

- ・先着順から「抽選制」へ：5月11日から22日まで、電子申請による抽選を行います。
- ・お年寄りなどへの配慮：ネットが使えない方のために、各支所に申込書と回収箱を設置し、担当課が責任を持って集計・抽選を行います。
- ・二重購入の防止：1回目を買った人は控えていただくようお願いをします。

今回の混乱の背景には、過去のプレミアム商品券が売れ残った経験から、需要を低く見積もっ

ていたという点があります。しかし今回はプレミアム率が高かったこともあり、予想を上回る反響となりました。

ご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、今後はこうした抽選制などで公平性を期してまいりますので、何卒ご理解いただきたいと思ひます。

4 各課事務連絡

特になし

5 次回日程

6月開催で調整します。

6 閉会